

古代壱岐の旅

平成 29 年 10 月 25 日(水)～26 日(木)

【1 日目】 10 月 25 日(水)

出発時間：博多港午前 10：30 発

到着時間：11：35 壱岐・芦辺港

13：00～13：15

① 志々岐神社 (石田町南触字若宮)

13：20～13：40

② 白沙八幡神社(石田町筒城仲触)

14：00～16：00

③ 壱岐市立一支国博物館(芦辺町深江鶴亀触) 0920-45-2731
320 円/人 (最終入館 17：00)

④ 原の辻遺跡 0920-45-2065 (カ) 3000 円 (遺跡を左記に見学の
場合も)

16：30～17：00 岳の辻展望台

17：30～ホテルチェックイン・アイランド壱岐 2 号館
(壱岐市郷ノ浦町片原触 221)

1、**志々岐神社**（石田町南触字若宮）

(1) 壱岐八浦

古来、壱岐には印通寺浦、郷ノ浦、芦辺、湯野本、八幡、勝本、瀬戸、小崎という八カ所の代表的な浦（港）があったが、九州に最も近いのは島の南部にある印通寺浦（石田町）である。魏の使者も卑弥呼の使者もこの港に寄港したはずである。印通寺浦は南側に大きく口を開けた港で、前面の妻ヶ島が天然の防波堤となって絶好の港を形成している。この港には、壱岐国二駅の一つである優通（ゆうつ）の駅（石田町石田西触字勇頭）が置かれていた。

平安時代頃までは、遣唐使などは印通寺浦で上陸し、優通の駅から国府（芦辺町国分）を通り、島の北部の可須（かす）の駅（勝本町）まで歩いていき、そこで再び船に乗って対馬に向かうのが正式なルートであった。

(2) 印通寺という地名

朝鮮出兵に臆して逃亡を図った一人の王に向かって、怒り狂った神功皇后が矢を射ると、その王の胸を射通（いとお）したため、「射通（いどう）」すなわ「印通（いんどう）」という地名になったという（『壱岐国続風土記』）。地元の伝承では、逃亡を企てた王とは、仲哀天皇の異母弟の十城別王であったという。

『日本書紀』では、日本武尊（やまとたけるのみこと）と吉備武彦（きびのたけひこ）の娘の吉備穴戸武媛（きびのあなとのたけひめ）の間に生まれ、四国の伊予別君（いよのわけのきみ）の始祖とされている人物である。

(3) **志々岐神社**（石田町南触字若宮）

十城別命が死んだ場所は、「死しき」と呼ばれ、「爾自岐」と書かれたが、その後「志自岐」と書かれ、その地に「志々岐神社」が祀られた。

なお、平戸市志々伎町にある「志々伎神社」も十城別王を祭神としているが、社伝によると、十城別王は朝鮮出兵の帰途この地に駐留して警備の任にあたり、没後上宮に埋葬され、「下松浦明神」として祀られたという。

仲哀天皇のもう一人の実弟の椎武（わかたけ）王もまた死因は伝えられていないが、やはり出征中に死去したと伝えられ、加部島（唐津市呼子町）の田島神社に「上松浦明神」として祀られている。これらの伝承を素直に読めば、神功皇后が十城別王や椎武王などの反戦派を肅正したことを示している。

(4) 神功皇后ゆかりの地

神功皇后は印通寺の浜続きのところで衣を干したため、「衣が浦」と呼ばれ、後に「君ヶ浦」と書かれるようになり、衣を掛けた石は「衣掛石（きぬかけいし）」と呼ばれた。

2、**白沙八幡神社**(石田町筒城仲触)

(1)祭神等

仲哀天皇・神功皇后・応神天皇。

拝殿に神功皇后の「御掛の石」がある。近くに湧き出る井戸は「御飯川」とい、神功皇后の御飯を炊いた水という。八塚山から流れる清水を神功皇后が「京水」とたたえたという。

(2)近くの神功皇后伝承地

①鴨瀬

神功皇后は壱岐に到着する前に逆風に遭い、浜に上陸した神功皇后は髪が乱れ、裳の裾も濡れ、海岸を歩くうちに髻(かもじ) (つけ毛) を落とした。このため、その浜は「髻瀬(かもぜ)」と呼ばれるようになり、それが後に「鴨瀬」と書かれるようになったという。

②錦浜

神功皇后がこの浜で錦の衣を乾かしたからであるという。

③七湊(ななみなと)

神功皇后の船が七日間停泊したことに由来する。七湊の浜に注ぐ川を「御手洗(みたらし)川」というが、神功皇后がこの川で手を洗ったからであるという。

④夕部(ゆうべ)

いつ到着したのか尋ねられて、神功皇后が、「ゆうべ」と答えたからであるという。この地には神功皇后の「鞍掛石」やモチをついた「石臼」もあったと伝えられる。

3、**原の辻遺跡・壱岐市立一支国博物館**(芦辺町深江鶴亀触 515 番地 1)

(1)幡鉾川流域

幡鉾川、別名河内(こうち)川の約八キロの流域に沿って、柳田・木田・原の辻など数多くの弥生遺跡や古墳が散在している。

その中で最も有名なのは、原の辻遺跡(芦辺町鶴亀触(つるかめふれ)、石田町石田西触)である。

(2)壱岐国の王都

深江田原に南から突き出た台地があり、幡鉾川流域のほ場整備事業に伴い、長崎県教育委員会によって平成三(一九九一)年から本格的な調査が開始された。この調査の結果、前二世紀から紀元三世紀頃にかけての弥生時代の全期にわたる遺跡で、大規模な多重環濠集落などが確認され、『魏志倭人伝』の壱岐国の王都と断定された。

(3)規模

原の辻遺跡は全体では 100 ヘクタールに及ぶ広さ。外濠は、南北約 750 メー

トル、東西は約 350 メートル。

農耕関係の遺物と漁労関係の遺物が出土しており、米づくりとともに漁業が行われていたことがわかる。

(4)遺跡

環濠の内側からは、宮殿とみられる建物跡や竪穴住居跡、時代の異なる建物跡、おびただしい建材や土器類も出土し、現在も発掘調査が進められている。

で、平成八（1996）年には、紀元前 2 世紀頃の日本最古の石組みの船着き場も発掘されている。「敷粗朶(しきそだ)工法」を用いるなど、中国の漢代のものと共通するきわめて高度な技術でつくられているという。

「敷粗朶工法」とは、地盤沈下を防ぐため、堤防の基礎部分に木の皮や枝などを敷き込むものである。

同じく日本最古の弥生時代中期の高床式建物の「床大引(ゆかおおびき)」が出土している。

また、日本最古のトンボ玉（弥生時代中期）やガラスの勾玉（弥生時代後期）をはじめ約 2000 個というおびただしいガラス製品が出土している。

日本最古といわれる木製の盾や 50 本以上の銅鏃なども出土しており、原の辻遺跡が壱岐国の軍事拠点であったことを示している。

濠の中からは五銖銭（直径 25.55 ミリ、重さ 2.1 グラム）といわれる前漢時代（紀元前 202—紀元後 8 年）に鑄造された貨幣や新時代（紀元 1 世紀）の貨幣である貨泉、「大泉五十(だいせんごじゅう)」も出土しており、大陸との交易・交流の一大拠点であったことを示している。

平成 6（1994）年に、環濠内の竪穴式住居跡から、扇形の動物の骨が数点出土している。この骨は弥生中期の猪の肩甲骨(けんこうこつ)で、骨ト(こつぼく)に用いられたものであることが判明した。

○『古事記』上巻の神話

「太ト(ふとまに)にト(うら)へてのりたまひしく」(骨トで占っておっしゃられるには) や「真男鹿(さをしか)の肩を内抜きに抜きて、波々迦(ははか)を取りて、占合まかなはしめて」(男鹿の肩骨を抜いて、カバノキを取って、焼いて占いをさせた)

○『魏志倭人伝』

「倭人が行事や旅行に際し、骨を灼いて吉凶を占った」

「中国の亀ト(きぼく)の法のように、火で焼いたひび割れをみた」

【2日目】 10月26日(木)

ホテル出発：9：30

10：00～10：20

- ① 老岐国一の宮・天手長男神社(郷ノ浦町田中触)

11：00～11：30 (元 13：30～14：00)

- ② 聖母宮(勝本町勝本浦)

～昼食～ (12～12：30) =よしもと食堂

13：00～13：20

- ③ 月読神社(芦辺町国分本村触 1369)

14：00～14：30

- ④ 住吉神社(芦辺町住吉東触 470)

15：00～15：30

- ⑤ 老岐風土記の丘古墳館(勝本町布気触 324-1)

16：00 郷ノ浦港着・ショッピング

出発時間：郷ノ浦港 16：55 発

到着時間：18：05 博多港着

1、**𤝵岐国一の宮・天手長男神社**(𤝵岐市郷ノ浦町田中触 730)

幡鉢川の上流に鉢形山があり、𤝵岐国一の宮の「天手長男神社」がある。『𤝵岐名勝図誌』には、「一の宮は天の岩戸を引き開けた天手力男命である。鉢形の嶺に鎮座されている。鉢形とは神功皇后三韓御出兵の時、兜の鉢を納められたことに由来する」と書かれている。

『宗像大菩薩縁起』によると、神功皇后の新羅遠征に際し、宗像の神が大いに奮戦し、武勲を輝かした。このとき「御手長」を振り回して敵を翻弄したので帰還後それを沖ノ島に立て置いたという。「御手長」とは旗竿のことである。

2、**住吉神社**(芦辺町住吉東触 470)

社伝によれば、住吉大神の守護によって朝鮮出兵を為し遂げた神功皇后が、その帰途現在の郷ノ浦町大浦触に上陸して住吉三神を祀ったのに始まるという。その後、神託により現在地に遷座した。『延喜式神名帳』では名神大社に列し、明治4年(1871年)5月に国幣中社に列格した。

3、**月読神社**(芦辺町国分本村触 1 3 6 9)

延宝4年(1676年)に平戸藩の命を受けて𤝵岐の調査を行った橋三喜が式内名神大社の「月読神社」に比定した。

神功皇后が三韓征伐の際に腹に当てて出産を遅らせた鎮懐石(月延石)の内一つが奉納されているとされるが、所在不明となっている。

4、**𤝵岐風土記の丘**(勝本町布気触 325)

(1)前方後円墳(対馬塚古墳と双六古墳)・・・6世紀後半の前方後円墳

①対馬塚古墳(勝本町立石東触)

𤝵岐では双六古墳に次ぐ第2位の規模の前方後円墳。標高100メートルの丘陵上に位置し、「対馬塚」の名は対馬島を見渡せることに由来。

墳丘長：約65メートル

後円部：直径約36メートル、高さ約8メートル

前方部：幅約25メートル

埋葬施設は複室構造の両袖式横穴式石室で、玄室・前室の2室と羨道で構成される。古墳からの出土品としては、金製品・金銅製大刀柄頭・馬具類・トンボ玉・陶器・新羅土器が見つかっている。

築造時期は6世紀後半頃とみられ、双六古墳に先行するとされる。

②双六古墳(勝本町立石東触)

長崎県最大の規模の前方後円墳。

墳丘長：91メートル

後円部：直径 43 メートル、高さ 10.6 メートル

くびれ部：幅 24 メートル

前方部：長さ 55 メートル、幅 36 メートル、高さ 5 メートル

複室構造の横穴式石室で、玄室・前室の 2 室と羨道で構成される。

玄室には朱塗痕があるほか、玄室床面には全面に凝灰岩製の敷石が敷かれたと見られる。また、石室壁に船形の線刻画も見られる。出土品としては、玄室からは須恵器・土師器・鉄製品・ガラス玉・二彩片・金糸などが、前室からは金銅製圭頭大刀把頭・把元・八窓鐔・雲珠・杏葉・金銅製冠・須恵器・土師器・ガラス玉などが、羨道からは金銅製鈴・鉄鏃・銀象嵌鐔・馬具・土師器・短刀などが、石室入り口からは新羅土器が見つかった。

(2)円墳・・・6 世紀末

①笹塚古墳(勝本町百合畑触)・・・風土記の丘

墳丘は円形で 2 段築成、直径約 66 メートル。

複室構造の横穴式石室で、玄室・中室・前室の 3 室と羨道で構成されている。

玄室最奥部に凝灰岩製の組合式箱式石棺が据えられ、かつては手前に石棺もう 1 基が存在したという。

出土品として金銅装馬具・鉄製杏葉等があり、複数馬具の副葬や高い細工技術などの特徴を有している。そのほか須恵器・土師器杯・朝鮮半島系陶質土器・鉄製品・ガラス製小玉・金環・スプーン状銅製品などの遺物も見つかっている。築造時期は 6 世紀後半から末頃と推定されている。

②兵瀬古墳(芦辺町国分本村触)

九州最大の円墳で、直径 53.5 メートル・高さ 13 メートル。埋葬施設は複室構造の横穴式石室で、玄室・中室・前室の 3 室と羨道で構成され。玄室奥には組合式箱式石棺が遺存する。古墳からの出土品としては、金銅製の馬具類や須恵器などが見つかった。築造時期は 6 世紀末頃と推定されている。

③掛木古墳(勝本町布気触)・・・風土記の丘

南北 22.5 メートル・東西 18.0 メートルであるが、元々は直径約 28～30 メートルであったと推定されている。埋葬施設は複室構造の両袖式横穴式石室で、玄室・中室・前室の 3 室と羨道で構成されている。

玄室には凝灰岩製の刳抜式家形石棺（刳抜式は壱岐唯一）が据えられ、出土品としては、須恵器・土師器杯・銅鏡片・金環・鉄製品が見つかった。

築造時期は 6 世紀末頃と推定されている。

④鬼の窟古墳(芦辺町国分本村触)

円墳で、壱岐を代表する巨石墳。

墳丘は円形で、直径 45 メートル・高さ 13 メートル。埋葬施設は玄武岩の巨石で作られた複室構造の両袖式横穴式石室で、玄室・中室・前室の 3 室と羨道で

構成される。

玄室には板石が残存し、これは組合式箱式石棺の部材と推測されている。古墳からの出土品としては、須恵器・朝鮮系陶質土器などが見ついている。

築造時期は6世紀末頃と推定されている。

これらの古墳の築造には沓岐島以外の勢力——大和朝廷が関与していたことが示唆され、また、出土遺物には、7世紀前半の大陸系の遺物が多数ある。

沓岐古墳群は6世紀後半から7世紀にかけての東アジア世界との交流のあり方を知る上できわめて重要な古墳群である。



1：200,000地形図「唐津」(国土地理院発行)を基本に作成

〈円墳〉

① 鬼の窟古墳(芦辺町国分本村触)

② 掛木古墳(勝本町布気触)・・・沓岐風土記の丘

⑤ 笹塚古墳(円墳・勝本町百合畑触)・・・沓岐風土記の丘

5、**壱岐国二の宮・聖母宮**(壱岐市勝本町勝本浦)

勝本は神功皇后が凱旋して「勝ちを得た」と喜んだことから名づけられたという(『壱岐国続風土記』)。勝本にある「可須」は、「何周」「香須」あるいは「加愁」とも書かれるが、「香椎」とも書かれた。神功皇后ゆかりの香椎宮に由来する。もともと香椎と称されていたが、「ス(シ)ヒ」の「ヒ」が抜けて「可須」となったという(『壱岐名勝図誌』)。

勝本の「聖母宮」(中津神社)は神功皇后新羅出兵の際、神功皇后が一夜にして建立したという。祭神は神功皇后・応神天皇・住吉三神である。地元では「しょうもんさま」と呼ばれているが、聖母大明神、香椎大明神、聖母大菩薩、壱岐国二の宮とも呼ばれる。